

# 千代田町子ども議会 会議録



平成 29 年 12 月 26 日開催

千代田町議会・千代田町・千代田町教育委員会



# 目 次

1. 千代田町子ども議会の概要 .....	1
2. 議事日程 .....	2
3. 出席議員 .....	3
4. 一般質問 .....	4
➤ 議席番号 1番 3年1組 吉田健人 議員 .....	4
➤ 議席番号 2番 3年3組 橋本実弥 議員 .....	4
➤ 議席番号 3番 3年1組 荒井希美 議員 .....	6
➤ 議席番号 4番 3年3組 須藤秀太 議員 .....	7
➤ 議席番号 5番 3年1組 高橋璃桜 議員 .....	8
➤ 議席番号 6番 3年2組 関根健真 議員 .....	9
➤ 議席番号 7番 3年2組 由井 翔 議員 .....	10
➤ 議席番号 8番 3年1組 杉寄一馬 議員 .....	11
➤ 議席番号 9番 3年3組 八山椋成 議員 .....	12
➤ 議席番号10番 3年2組 小林 恋 議員 .....	14
➤ 議席番号11番 3年3組 高橋一輝 議員 .....	15
➤ 議席番号12番 3年2組 吉永有希 議員 .....	16
5. 子ども議員の感想 ～子ども議会を終えて～ .....	18
6. 当日の様子 .....	19
7. 参考資料(出席者) .....	21

## 1. 千代田町子ども議会の概要

町制10周年に開催されて以来、25年ぶりに町制35周年を記念し実施することになりました。千代田中学校吹奏楽部20名の演奏によるオープニングセレモニーで開会されました。

### ●千代田町子ども議会(平成29年12月26日<火>)

議長に杉寄一馬議員が、副議長に橋本実弥議員が任命されました。

3年1組 杉寄一馬議長



3年3組 橋本実弥副議長



千代田中学校3年生の中から選ばれた12名の子ども議員がそれぞれ一般質問を行い、質問に対し、町長や教育長が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、町議会議員などの多くの方に傍聴していただきました。



## 2. 議事日程

(平成 29 年 12 月 26 日<火>13 時 00 分開会)

### ●オープニングセレモニー

千代田中学校吹奏楽部



### ●開会前

子ども議員紹介

出席者紹介

町長あいさつ

千代田町長 高橋 純一(たかはし じゅんいち)

議長あいさつ

千代田町議会議長 襟川 仁志(えりかわ ひとし)

### ●子ども議会

(1)開会

子ども議会議長 杉寄 一馬(すぎさき かずま)

(2)一般質問(1番議員～6番議員)

(3)一般質問(7番議員～12番議員)

(4)子ども議長あいさつ

子ども議会議長 杉寄 一馬(すぎさき かずま)

(5)閉会

子ども議会副議長 橋本 実弥(はしもと みひろ)

### ●閉会后

副議長講評

千代田町議会副議長 高橋 祐二(たかはし ゆうじ)

記念品贈呈

写真撮影



### 3. 出席議員

議席番号	クラス	氏名	質問内容
1	1組	吉田 健人	・温度計設置について
2	3組	橋本 実弥	・東西児童の交流について ・分譲地における課題について
3	1組	荒井 希美	・東部運動公園にある物置きの利用について ・千代田町のPRについて
4	3組	須藤 秀太	・なかさと公園の遊具について ・畑について
5	1組	高橋 璃桜	・千代田町の街灯について ・町内放送について
6	2組	関根 健真	・バスの本数について ・夏の暑さについて
7	2組	由井 翔	・なかさと公園にスケートボードができる場所について ・スクールバスについて
8	1組	杉寄 一馬	・中学校の備品について ・道路標識について
9	3組	八山 棕成	・下水道の整備について ・千代田中の駐輪場について
10	2組	小林 恋	・部活動、その他の運動機能向上について ・川せがきについて
11	3組	高橋 一輝	・公共交通について ・町の人口減少について
12	2組	吉永 有希	・職員の給料の問題について



## 4. 一般質問

### ➤ 議席番号 1番 3年1組 吉田健人 議員

#### 温度計設置について

今年になって千代田中に温度計が設置されました。設置されたことで、温度がわかり熱中症予防にもつながります。ですが、千代田中の校庭、バスケ部やバレ一部が使う町民体育館には温度計がありません。「温度計をつけてほしい」というバスケ部からの声も耳に入りました。部活動などを行っている生徒が安心して部活に取り組むためには温度を見てそれにあったこまめな水分補給や休憩が必要だと思えます。

#### 答弁

##### 【教育長】

ご質問にお答えします。

温度計設置についての答弁に入る前に、昔と今の夏の暑さの変化について、先にお話しをさせていただきたいと思えます。気象庁発表の館林のデータによると1982年から1986年と、2012年から2016年の各5年間のデータを比較してみますと、夏場の最高気温の平均が36.5℃から39.6℃と、この30年間で3.1℃上昇し、猛暑日(35℃)を超える日は、30年前が平均で約8日間に対し、最近の平均が約26日と約3倍以上になっております。本題に戻りまして、町民体育館への温度計設置についてですが、先程のデータからも地球が温暖化している事が分かります。

最近では、「異常気象」という言葉が頻繁に出てきておりまして、今後、さらに気温の高い日が多くなる事が予想されます。このような事から、町民体育館を利用される皆さんの体調管理などで少しでもお役に立てるよう、温度計の設置について、前向きに検討していきたいと思えます。

#### 再質問

吉田議員：設置を検討するとのことですが、いつ頃になりそうですか。

岡田教育長：設置を検討すると言いましたが、これは当初予算にないものなので、色々検討して予算執行が可能かどうか議論、設置の方向で努力していきたいと思えます。

### ➤ 議席番号 2番 3年3組 橋本実弥 議員

#### ① 東西児童の交流について

これは、僕が実際に感じたことですが、この町では東西児童の交流が少なく、僕が知っている限りでは小学5年生の林間学校ぐらいだと思えます。そのため、町で1つである中学校に入ると初めの頃は少し東西で分かれてしまうこともありまして。やはり初めから顔を知っていた方が学校生活も初めから楽しくなると思えます。なので、町には東西児童の交流を盛んにしてほしいと思えます。

#### ② 分譲地における課題について

この町には、分譲地が舞木とふれあいタウンの2つがあります。なので、新たにこの町に住む人はこの2つが多いと思えます。ですが、この2つに人が集まりすぎるのではないかと、そう思えます。そうなれば必然的に他の地区との人口差ができてしまい、町民体育大会などで地区対抗を行うことが困難になるのではないかと、こうも考えられます。

## 答弁

### 【教育長】

平成19年度までは小学校6年生で東西小学校が同じ日程で臨海学校を実施していました。しかし、その年に臨海学校が廃止となったため、平成24年度から東西小学校5年生の林間学校が実施されるようになりました。同じ中学校へ進学する者同士、小学校のうちから交流を深めあうという目的が、これらの行事にはあります。小学校のときから交流を盛んに行い、互いの学校の子たちを理解できれば、中学校へ入学した時、人間関係づくりに悩まずに済むかもしれません。しかし、学校の各教科の授業や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等、年間でそれぞれ行わなければならない最低限の時間数が国で決められています。より多く東西小学校で交流の機会を作るとなると、交流の時間と行き来するための時間も生み出さなくてはなりません。そうしたとき、現在の状態では交流の機会を増やしていくのはかなり難しいと考えています。また、これから先、みなさんは、中学校から高校へ、高校から大学へ、学生から社会人と自分の所属が変わるたびに変化する人間関係に自分の力で対応していかなければなりません。そんな変化に順応できる力をつけるため、中学校に入学した時を一つの機会として、知らない相手に自分から話しかけたり、相手のことを知ろうと努力したりすることも必要ではないでしょうか。小学校で交流の機会を増やしていくことは難しいですが、中学校入学前から東西小学校の子ども同士で交流することは良いことですので、チャレンジ手帳等を利用して町の行事や子ども会の行事、あるいは陸上記録会や水泳記録会などに参加して、積極的に交流していただけるとよいと思います。

### 【町長】

千代田町の人口については、平成29年12月1日と5年前の平成24年12月1日で比較しますと全体で410人減少しています。ご質問の「舞木」と「ふれあいタウン」の2つの地区は、町が人口増加を図ろうと約20年前から計画的に町づくりを進めたところですが、町内17行政区のうち、西地区では区画整理事業が完了しました舞木16区、及び赤岩3区熊野・五反田地区の人口が増加し、また、東地区では17区ふれあいタウンが人口増加となっています。それ以外の地区では人口が減少し、特に子供の数が少ないため、小学校のクラス編成でも東小学校では1クラスの学年が多くなっています。

町では、全国的に少子高齢化により人口減少が進む中、国の地方創生という政策を踏まえて「千代田町総合戦略」という計画を平成28年3月に作りました。この総合戦略では、千代田町が今後目指すべき将来の方向と人口の増加を図る将来目標を掲げています。少子高齢化の中で人口が減少すると経済規模が縮小し、1人当たりの国民所得が減少するなど、生活水準が低下する恐れがあります。また、町内の地区で人口差ができ、地区対抗を行うことが困難とご質問では、町外へ転出する方の歯止めをかけるため、働く場所の確保が必要で、工業団地の造成や商業施設の誘致により、少しでも人口が増加するよう、町の活性化・賑わいのある町づくりを目指して取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

## 再質問

橋本議員：教育長がチャレンジ手帳を使って交流を深めてほしいとおっしゃっていましたが、提案があります。僕自身ミニバスに所属していたのですが、その場所では東西児童の交流がありました。町の主催でクラブチームを全部集めて、大きなスポーツの大会などできたらと思います。

岡田教育長：とても良い提案だと思います。クラブチームなどでの東西の交流がもっと盛んになればいいのかなと思います。今現在、スポーツフェスティバルで各種団体が一堂に会してスポーツに親しめるような機会を作っています。議員が言っていたクラブチームなど各種団体の子どもたちが集まって、スポーツ大会を試みるのはとても良いと思うので、これから検討していきたいです。

## ➤議席番号 3番 3年1組 荒井希美 議員

### ① 東部運動公園にある物置きの利用について

東部運動公園にある物置きになってしまっている家を公園に遊びに来ている人や、ちょっとした勉強をできるようなスペースにしてほしいです。あんなにちゃんとしている家なので物置きではもったいないと思います。あの家をみんなが使える場所にしたら公園の利用者も増えると思います。明るく元気あふれる町をつくるためにもお願いしたいです。

### ② 千代田町のPRについて

私は千代田町の良さをもっといろんな人に知ってもらいたいと思いました。そこで、千代田町について知ってもらえるような場所を作ってほしいです。人が集まるジョイフル本田やプラザなどに千代田町のゆるキャラみどりちゃん、樹里ちゃんの紹介や千代田町にしかない物を販売するのはどうですか。もっと千代田町の良さを広げてください。

## 答弁

### 【町長】

東部運動公園にある物置きの利用についてですが、正式にはコミュニティセンターという名称となっています。平成元年に建設され、以前は温水プール南東の銅像がある東側に位置しておりまして、詩吟などの練習や各種会議、ゲートボールで来られた方の休憩所として利用されてきました。平成15年の総合体育館建設に伴い現在の場所に移動しました。現在の利用状況は、各種イベント・大会の備品置場として、また、東部運動公園の管理を行っているシルバー人材センターの方々の休憩所として利用しています。

今後のコミュニティセンターの活用方法としましては、地元農家と協力し、地場産の野菜販売や、サッカー場の利用者などが休憩所として利用できるよう一部を開放していく予定です。また、勉強が出来るスペースへの活用については、東部地区にそのような場所がなく不便をおかけしておりますが、現状ではコミュニティセンターを勉強する場所として活用する予定はありませんので、山屋記念図書館や町民プラザを利用させていただきたいと思っております。

続いて、2つ目の質問についてですが、千代田町には、「赤岩渡船」や「利根大堰」など町内外から多くの方を呼び込むことができる観光スポットや地域を盛り上げていくうえで欠かすことのできない「川せがき」や「産業祭」などのイベントを含め、数多くの魅力があると考えています。そこで、効率的に、また効果的に町の魅力をPRするには、町のマスコットキャラクター「みどりちゃん」と「樹里ちゃん」を活用し、本町の魅力を発信していくことは、とても重要であると考えています。その取組みといたしましては、昨年、ジョイフル本田千代田店で開催した邑楽郡地域ふれあい物産展では、郡内の各町が一同に会し、特産物などを販売するという内容でしたが、本町におきましては、「いちごジャム」「はちみつ」「ゴーヤの加工品」「ドーナツ」などを販売しましたところ、当日は「みどりちゃん」の演出効果もあり、とても良い売上げでした。

また、年に1回、東京の銀座にあります群馬県のアンテナショップ「ぐんまちゃん家」におきまして、千代田町の物産展を開催しています。内容については、千代田町産の季節の野菜を始め、先程の物産展と同様の加工品等を販売いたしました。また、千代田町は植木の里ということもありますので、「苔玉づくり教室」も開催し、好評を得たところでございます。なお、この時も「みどりちゃん」を活用し、販売のお手伝いをしてもらいました。町のイベントの時や更に町外で開催されるイベントの時に、同様のPRを積極的に行っていきたいと考えています。

## 再質問

荒井議員：千代田町をPRするために東京で物産展などを行っているというお話でしたが、そういう活動を町内の人にお知らせするといった活動はされていますか。

高橋町長：PRの方法ですが、ケーブルテレビや町広報を使って今以上に発信していきたいと思っております。町内・外の方や千代田町に住んでいた方などへ千代田町の魅力に気づいてもらい、人口増にも繋げていければと思います。また他のPR方法も検討していきたいと思っております。

## ➤議席番号 4番 3年3組 須藤秀太 議員

### ①なかさと公園の遊具について

連休中、なかさと公園に遊びに行く人は多いと思います。この前遊びに行った時、土手の上にある滑り台の土が崩れているところから、登っている子がいました。もし転んでけがをしたらあぶないので、埋めたほうがいいと思います。それに他の遊具も少し危ないと思ったので点検や整備をした方がいいと思います。

### ②畑について

この時季になると火燃しをする田んぼが多いと思います。そのせいで、洗濯物やアレルギーをもっている人に被害が及ぶかもしれません。なので、燃やす日にちや曜日を決めて燃やした方がいいと思います。

## 答弁

### 【町長】

なかさと公園は、平成12年度に完成した、利根川の水面を渡る風がさわやかに吹き抜ける「水と風」をテーマにした緑豊かな公園です。5.1haと広大な敷地の中には、利根川が一望できる展望台、その展望台から滑り降りる60mのローラスライダーをはじめとする数々の遊具があります。今ある遊具は、当時の東・西小学校のアンケート調査により選んだものです。また、野球場や人気のバーベキュー棟もあり、町内・町外から多くの利用者が訪れ、憩いの場、スポーツの場として快適に利用されています。

さて、ご質問の「土手の上にある滑り台の土がくずれていて危ない…」とのことですが、危ないところや壊れたところは、公園利用者がケガ等しないよう、すぐに直したりしていますが、もし、気が付いたところがあったらすぐに役場都市整備課へ連絡して下さい。すぐに対応します。また、遊具の点検については、国土交通省の基準に基づいて、公園施設製品安全管理士という資格をもった専門業者の人にたのんで、毎年、点検をしています。

点検結果により、ボルトの緩みや部品交換、木部の腐食など、ただちに補修を行って遊具の安全確保に努めています。これからも、なかさと公園を楽しく利用して下さい。

続いて、2つ目の質問についてですが、稲の収穫や麦の収穫が行われた後に、田んぼで「稲わら」や「麦わら」の焼却していることについてのご質問であると思います。この「稲わら」や「麦わら」の焼却は禁止されていますので、町では現地でパトロールを行うとともに、焼却している現場に行き注意をしたり、また、広報紙や啓発チラシに「焼却をしないでください」という内容を掲載し配布するなど、いろいろな取組みを行っています。ここ数年において焼却していた方も少しずつ減少してきているものの、まだまだ焼却する方がいるのが現状となっています。

最近、稲や麦の収穫後の田んぼにおいて、2m位のロール状に丸めた「わら」が一つの田んぼに幾つか置かれている光景を見かけたこともあると思いますが、これは「ロールペーラーサイレージ」と言ひまして、稲わらや麦わらをロールペーラーという機械で丸めたもので、牛など家畜の飼料(えさ)や田んぼ、畑の肥料、畜舎の敷きわらなどに再利用するというものです。その他、わらを田んぼや畑に細かく刻んで、土と一緒に攪拌する方法など、わらを燃やさないで処理する方法もありますので、「稲わらや麦わらは燃やさないでください」ということを農家の方に強く呼びかけていきたいと思っています。

これまで伝統的に行われてきた「わらの焼却」を他の方法により無くすことは、時間がかかるとは思いますが、農協などの関係団体と協力して働きかけていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

## 再質問

須藤議員：火燃しについて注意していくとおっしゃっていましたが、具体的にどのように行っていくのですか。

高橋町長：前から比べると随分減ってはいますが、燃やすこと自体禁止されています。広報等での啓発活動を繰り返し行っていきたいと思っています。わらの再利用の方法もあるので、農協など関係団体と協力しながら減らしていければと思います。

## ➤議席番号 5番 3年1組 高橋璃桜 議員

### ①千代田町の街灯について

段々日も暮れるのが早くなってきました。気がつくとき真っ暗です。最近では物騒な事件が増えてきました。母が携帯電話で警察署からの安全メールを読んで、「大事にならないまでも、身近で不審者情報が多くなってきたね」と言っていました。他にも暗くなってから、犬の散歩をする人やウォーキングをする人が増えてきました。蛍光タスキ等をしている人もいますが、していない人もたくさんいます。車を運転しているときに直前まで近づかないと見えないので、とても危ないです。物騒な事件や夜間の交通事故を防止するためにも、街灯が必要だと思います。

### ②町内放送について

最近、弾道ミサイルなどのことで町内放送をよく耳にします。しかし、エアコンや暖房を使う場合、窓を閉めると暖房やエアコンの音と重なり合っただけで聞こえにくくなります。もし、テレビや携帯電話の電源を切っていた場合情報を得る手段がありません。千代田町民の安全を守るためにも、町内放送を聞こえやすくする工夫が必要だと思います。

## 答弁

### 【町長】

町が管理している街灯(防犯灯)については、町全体で1,100基以上設置されていますが、まだまだ暗いといった町民の方は多いと思います。町では平成25年度に街灯(防犯灯)を国の補助金をいただき、明るい街づくりの推進、環境に配慮した低炭素社会への寄与、さらに、消費電力の削減による財政負担の軽減を図ることを目的としてLED照明に切り替えました。また、今年度では、100万円の寄付をいただきましたので、平地林など暗いところが多い新福寺・福島地区に新たに犯罪防止のため60基の防犯灯を設置させていただきました。防犯灯については、県道や小学校・中学校の通学路を中心に設置してありますが、設置については各行政区の代表であります区長さんを通して行い、設置の要望がでている場所を現地確認し、設置が可能かどうかを判断します。その場所に電線がないと設置するにも時間や費用が掛かってしまう場合がありますので、要望通りにいかないこともあります。

最近健康維持のため、散歩をされる方が多いのは聞いておりますが、防犯灯での交通事故防止もそうですが、特に暗くなるのが早い冬場では、自分の存在をアピールするためにも反射材等を身に付けて散歩をしていただければと考えています。いずれにしても、犯罪防止の有効手段の一つとして防犯灯は役に立ちますので、場所をよく選定して、本当に必要なところに設置を進めていきたいと思っています。

続いて、2つ目の質問についてですが、現在、町民の方々への情報の伝達については、「広報ちよだ」や「町のホームページ」、そして、「防災行政無線」、「千代田町安全安心メール」などがあります。ご質問の「町内放送」用の防災行政無線は、町内全域で34箇所設置をしております。場所によっては聞きづらい所や、近くにあるため「うるさい」という方もいます。どこの町でも聞きやすくするため努力をしていると聞いています。

スピーカーからの音量を上げれば多少は聞こえないところも解消されるかもしれませんが、近くの方は「さらにうるさく」感じると思われます。また、音量を上げて放送すると逆に声が割れて、聞きづらくなる可能性もあります。スピーカーの数を増やすことや、各家庭に個別の受信機を設置することができれば、天候に左右されず屋内で防災行政無線の屋外放送の情報を受けられますので、設置を検討したいと思いますが、設置費用に高額なお金が掛かってしまうことがデメリットとなっています。

しかし、災害など必要な時に聞こえなければ何の意味もありませんので、色々な方法を検討したいと思います。放送が始まったと思ったら、少しで良いですから窓を開け、聞き取る努力をお願いします。

## 再質問

高橋議員：防災行政無線の設置費用に高額なお金がかかってしまうとのことでしたが、募金などで資金を集めることは可能ですか。

高橋町長：町には色々な予算があり、その中の一般会計予算というものが、千代田町では約46億円となっています。みなさんからいただいている税金はこのうちの22億円程度となっています。そのほかに国や県から交付金・補助金などをもらっています。そして色々な優先順位を考え、議員さんも含めて議論を行っています。予算を集めるということですが、色々なやり方がありクラウドファンディングも1つの方法です。これは千代田町がこういった状態で防災無線が必要だから寄附をしてくださいとアピールをして集め、それを活用しながら設置をするということです。これも検討しながら行っていきたいと思います。

## ➤ 議席番号 6番 3年2組 関根健真 議員

### ① バスの本数について

僕には2つ上の兄がいます。兄は今太田の高校に通っています。そこでバスを使って通学をすることがあります。その時に少し遅れてしまい1本乗り遅れると次のバスがなかなかなく学校の通学時間に間に合わなくなりそうなことがあるそうです。通勤、通学に限らず、車の運転のできない人や高齢者もバスを利用することがあると思います。そこでもう少しバスの本数を増やしてもいいと思います。

### ② 夏の暑さについて

僕は野球部に入っていたため、毎日外で部活動をしていました。その中で、夏休みの練習などの時、強い日差しの中でやっていました。邑楽郡や館林市は特に暑い地域です。部活動の中で休み時間はあるものの、その時間も日の光があたってしまいます。そこで外で行う部活動のそれぞれのベンチに小さくても屋根が付けば、熱中症対策になるかと思います。

## 答弁

### 【町長】

太田市方面へのバス路線は、民間会社が営業を行っていましたが、車社会の到来とともに、昭和58年6月に廃止となりました。不便になったことから、平成11年7月より太田市・大泉町・千代田町の1市2町で広域公共路線バスの運行を開始し、現在は、大泉町・千代田町の2町で協力して運行をしています。千代田町は鉄道も国道も無い町で、路線バスの役割は高齢者や学生などの交通弱者といわれる方々にとっては、通院・通学・買い物などの目的のため、貴重な移動手段となっていると思います。ただ最近では利用者が年々減少傾向にあり、利便性の向上による利用者の拡大、経費の削減などの対策を行っていき、今後も安定した運行を継続していきたいと考えています。

「バスの本数を増やしては？」の質問になりますが、大泉・千代田線のおおぞらは現在、千代田町役場と太田記念病院の間を片道約1時間と距離が長いので、1日5往復と少ない運行となっています。朝7時15分千代田町役場を発車し、夜7時44分千代田町役場到着で1日が終わります。この路線に限らず1つの路線にバスは1台、1人の運転手さんで運行しているため、現在の運行時間が時刻表を見ると一番合っていると考えています。バスの本数を増やすには、もう1台バスを購入しなければなりませんので、現状では難しいと考えます。乗り遅れないよう注意していただきたいと思います。

### 【教育長】

中学生の皆さんは、日頃から非常に熱心に部活動に励んでおり、大会の結果などを見ても、その頑張りにはとても感心させられます。部活動は、屋内での活動もありますし、屋外での活動もあります。私自身も学生時代は、部活動を行っていたので、夏の暑い中での練習の辛さ、冬の寒い中での厳しさは、十分に分かっているつもりです。しかし、最近の夏の暑さは異常とも思えるくらいに気温が上がり、館林市と熊谷市とが、その日の最高気温を争っているニュースを皆さんも聞いたことがあると思います。本町は、その両市に挟まれているので、報道はされていませんが、かなりの高温であることは間違いありません。そのため、部活動中の熱中症対策は、非常に重

要だと考えています。熱中症は、どこでも誰にでも起こる可能性があり、重症化すると命を落とすこともあります。そうならないためにも、早めにしっかりと対策を取ることが必要です。暑さを避ける・小まめな水分補給・体調管理・服装の工夫などが予防対策です。そのため、『夏の強い日差しを避けるために、休憩スペースに屋根が付けば熱中症対策になる』とのことですが、その通りだと思います。暑さを避けるためには、木陰や建物の日陰などで休憩をとることが最善ですが、部活動によっては校庭の片隅のベンチで休憩を取ることもあるでしょう。

私は、そのベンチに固定式の屋根を付けるよりも、簡易式テントを設置してはどうかと考えます。固定式の屋根では、学校の行事によっては邪魔になってしまう可能性もありますが、組立式のテントであれば、日差しの状況によっては移動もできますし、他校での練習試合や大会でも会場に持ち込めば使用できると思います。これは、ひとつの例ですので、他の市や町の学校がどのような対策を取っているのかを調査し、学校と相談しながらより良い方法を研究したいと思います。

## 再質問

関根議員：簡易式テントを設置するのはどうかとおっしゃっていましたが、購入費用は町から出ますか。

岡田教育長：みなさんが一生懸命やればきっと町側もその要望に答えてくれると思います。

## ➤議席番号 7番 3年2組 由井 翔 議員

### ① なかさ公園にスケートボードができる場所について

最近小学生～大人までの間でスケートボードが流行っています。僕も小学6年生の頃から行っています。2020年に開かれるオリンピックの追加種目としても選ばれました。ですが、現在スケートボードを行う環境がありません。スケートボードを道でやっていると危険で事故につながります。そのために、勝手な考えですがなかさ公園にスケートボードができる広場をつくってほしいです。

### ② スクールバスについて

小学生のためのスクールバスが欲しいです。僕の地区は新福寺で、歩きで50分程度かかります。夏は暑いですし、冬も寒いので、学校から遠い子のためにスクールバスを用意してほしいです。

## 答弁

### 【町長】

スケートボードは、アメリカを中心に発展したストリートスポーツのひとつで、2020年の東京オリンピックでは新種目として採用され、初めてのオリンピック競技となります。スケートボードは、お椀型のボールや湾曲した滑走面で行う「パーク」と、街中にあるような階段や斜面、手摺りなどを設置したコースで行う「ストリート」の2種類の競技があるかと思います。国内では、10代の選手を中心に約80名のプロ選手がいるそうですが、世界レベルでのプロ選手は、ほんの数名と日本では競技人口も少なく、まだまだなじみの薄いスポーツですが、オリンピック種目として採用されたことで、将来のオリンピック出場を夢見る子ども達は、多く出てくるのではないかと思います。

「なかさ公園にスケートボードができる広場を」とのことですが、スポーツを楽しむことはとても大切なことだと思います。スケートボードに関しては、いろいろな意見があるようですので、近隣にいくつかあるスケートパークなどへ、スケートボード人口を調査して、どんな競技に利用したいのか？広さはどの程度か？など、利用者の需要が多ければ、検討してみたいと思います。最後に、道路でのスケートボードは、危ないので絶対にやらないようにお願いします。

### 【教育長】

スクールバスにつきましては、平成24年度に中島・新福寺の区長さんや町の議員さん等から、通学バスを運行してほしいという要望書が提出されました。要望の内容は、中島・新福寺地区の通学路の危険性及び遠距

離通学の問題解決策として、町等が所有するバスをスクールバスとして利用し、新福寺地区より中島地区を巡回するスクールバスの運行を要望するものでした。結論から言いますと、新福寺・中島地区を巡回するスクールバスの導入は見送らせていただきましたが、見送った理由をお話します。

まず、1点目ですが、中島通学路のみ対象では公平性に欠ける。2点目は、1台のバスで町内全域を巡回することは難しく、民間のバス会社をお願いする必要があります。3点目は、スクールバスを利用しない児童がいた場合、通学路の安全対策とバスの運行に2重のお金がかかってしまう。4点目では、一部地域の児童のみがスクールバスを利用すると、利用する方に負担金をお願いしなくてはならない。最後に、徒歩で通学することにより、体力の増進、通学班による団体行動の大切さが学習できますが、それが失われてしまう。以上の理由により、スクールバスの運行を見送りました。

その代わりとして、中島押しボタン式信号交差点から西小学校までの通学路に関して、児童の交通安全及び防犯上の安全確保に重点を置いた対策を実施しました。まず、交通安全対策として、スクールゾーンであることを分かり易くするため、児童が歩く幅を示したグリーンベルトの設置や白線のひき直し、『学童注意』の路面標示や看板の設置を行いました。

次に、防犯対策として、防犯灯の設置、町保安員による防犯パトロール、防犯カメラの設置を実施しました。現時点では、現状どおり徒歩通学が良いと考えておりますが、将来的には子どもの数が減っていくというデータもありますので、状況を把握しながら、スクールバス運行の議論は、これからも続いていくものと考えています。

## 再質問

由井議員：スケートボードを道ではやらないでくださいとおっしゃっていましたが、やっていい場所がありますか。

高橋町長：町道や県道などの舗装がされている場所はもちろんやってはいけません。やってよい箇所はこれといって現在ありません。ないのですが、近隣の状況を見ながら設置するかどうかの検討に入りたいと思います。昨年町民の方から、ドッグランを作ってほしいという依頼もありました。様々な要望があるので、議論をしながら検討していきたいと思えます。

## ➤議席番号 8番 3年1組 杉寄一馬 議員

### ① 中学校の備品について

私は千代田町に2つ提案があります。一つ目は西小学校にはあった備品、例えば顕微鏡等が中学校には少ないので何故だろうと疑問に思いました。

### ② 道路標識について

千代田町の道路標識についてです。私は、毎日登校する時にここにカーブミラーがあればいいなと思う場所が複数あります。なので道路標識を設置してください。

## 答弁

### 【教育長】

授業の中で、様々な備品や器具を使用して授業を受けることは、とても楽しいことだと思いますし、多くの発見があって勉強にもなります。備品や器具を使用した授業というのは、実体験をとおして学ぶことのできる、有効な授業であると考えます。小学校と中学校で行う実験の授業を比較しますと、中学校での実験は小学校よりも回数が多く、内容も難しくなります。反面、難しいからこそ、実験に成功した時の喜びは、大きなものになると思います。もちろん、小学校と中学校で行う実験は、その内容も異なることから、備品や器具などの種類、あるいは数も当然違うはずですし、同じ小学校でも東小学校と西小学校では異なります。

質問にあります顕微鏡に限って言えば、2人で1台が理想だと伺いました。学校にある備品や実験器具には多くの種類があり、その中には非常に高価なものもあります。学校を運営するためには、とても多くのお金が必要で、

中学校にかかるお金は、町の予算の中から出ています。つまり、学校で使用する備品や器具、楽器等は学校からの要望を受けて、町の予算で購入しています。そのため、学校では何が必要で、どのくらい購入するかを十分に検討し、町に対してこれくらいの予算が必要だと報告があるわけです。

町では、学校からの報告を受けて先生方と相談し、生徒の皆さんにとって必要なものにお金を使えるよう予算を確保する仕組みになっています。

ですから、生徒の皆さんは、授業や部活動などの学校生活をとおして、どうしても必要な備品等がありましたら、担任の先生・教科の先生・部活の顧問の先生に相談してみてください。先生方は、必ず皆さんの声に耳を傾けて、町に対して要望してくれると思います。

## 【町長】

本町では、交通安全のため、町の道路に車や歩行者など停止が必要なところには、止まれなどの停止線や道路の端の路肩には外側線(白線)の工事を毎年行っています。ご質問のカーブミラーの設置では、当然、見通しの悪いT字路やカーブを中心に、平成24年度から平成28年度の5年間で46箇所設置しました。設置の要望については、各行政区の代表であります区長さんへお願いしておりますが、場所によっては、個人の敷地内に設置しなければならない箇所も出てきてしまう場合もあります。

地主さんが設置しても「いいよ」と承諾しなければ設置できない場所もあるため、よく現地を確認し道路上で設置が可能かどうかを判断しています。今後も危険な箇所がなくなるように、要望に沿って設置を進めていきたいと考えています。

## 再質問

杉寄議員:備品などは町が購入しているとおっしゃっていましたが、繰越金などは活用できるのですか。

岡田教育長:1年間の予算というものがあって、最初からどんなものを購入するかある程度決まっています。しかしどうしても緊急を要し、これがないと授業ができないという場合には、議会の許可を得て予算を補正することで購入することができます。ルールの中で、頑張りたいと思っています。

## ➤議席番号 9番 3年3組 八山 椋成 議員

### ①下水道の整備について

現在、僕の家につながっている下水道の整備ができておらず、そのままになっています。両親に聞くと、他にも下水の整備が済んでいない所があると聞きました。このままでは、衛生的に良くないので、できるだけ早く整備してほしいのです。

### ②千代田中の駐輪場について

この前、風が強い日に多くの自転車が倒れていました。全部というわけではありませんが、3年生の自転車の大体が倒れていました。この時、僕の自転車のカゴが少し曲がってしまいました。そのほかにも強風で自転車が倒れ、破損してしまった人もいます。

## 答弁

### 【町長】

千代田町の公共下水道は、平成4年度に事業認可を受け、平成5年度より工事を始めまして、すでに25年を経過いたしました。現在までに舞木地区と赤岩地区で107.6haの整備を行い、公共下水道を使用できるようになりました。

まだ、公共下水道が整備されていない地区の方につきましては、合併浄化槽による汚水処理を推進しています。公共下水道では、なかさと公園の西にある、西邑楽水質浄化センターできれいにして、利根川へ流していま

すが、合併浄化槽でも、トイレや台所の水も、まとめて浄化しますので、公共下水道なみの浄化が期待できます。このため、町では、下水道の整備されていない地区は、合併浄化槽による汚水処理を推進しており、新築で設置する浄化槽はすべて、合併浄化槽となっています。公共下水道の整備には、多くのお金と時間がかかることから、整備のされていない地区のご家庭につきましては、この合併浄化槽による汚水処理を、行っていただければと思います。

また、単独浄化槽を設置しているご家庭では、合併浄化槽へ切替えるための補助金もありますので、皆さんの家の汚水処理がどうなっているのか、一度、確認していただければと思います。下水道の目的は、川の汚れを防止し、生活環境を良くすることですが、公共下水道だけでは、この目的は達成されません。皆さんの、環境に対する関心が大切だと、考えておりますので、よろしくご理解をお願いいたします。

## 【教育長】

ご存知のとおり、群馬県は冬になると“空っ風”という特有の強い西風が吹きます。自転車通学をしている皆さんの中には、自転車のペダルを必死にこいでも、まったく前に進めないという経験があると思います。“空っ風”の威力は凄まじいものであり、駐輪場に止めてある自転車をなぎ倒すことは、容易に想像できます。家族の方が、皆さんのために購入してくれた自転車ですから、長く大事に乗っていただきたいと思います。

そこで、実際に中学校の駐輪場がどのような状況なのかを確認したところ、風を遮るものがまったくなく、“空っ風”をまともに受けてしまう状態でした。そのため、どのような対策をすれば自転車が倒れないかを考えてみました。まず、柱などに固定する方法はどうか…、中学校の駐輪場には、両側に柵がありますが、すべての自転車を固定できる状態ではありませんでした。次に、自転車スタンドを使用してはどうか…これは、自転車の前輪をスタンドに載せて駐輪するものです。しかし、持ち運びのできるスタンドは軽量のため、強風時にはスタンドごと倒れてしまうとのことでした。また、コンクリートにボルトを打ち込んで固定するスタンドもありますが、費用もかかりますし、スペースも必要になることから、慎重に検討しなくてはなりません。

様々な方法を調べていく中で、近隣の高校が、強風による転倒防止策を実施しているとの情報がありました。そこで、その高校を見学させていただきました。その高校でも、皆さんと同じように、強風によって自転車が倒れることが多く、自転車が傷ついたり壊れたりしてしまうことがあったそうです。

そのため、生徒から要望を受けた先生が企画して、群馬県産の木材で風を逃がす板を作成し、駐輪場に設置したとのことでした。この方法は、構造は簡単ですが費用面でかなり高額であることから、中学校の駐輪場に設置できるかどうか調査してみたいと思います。

## 再質問

八山議員：合併浄化槽を推進しているとのことでしたが、現在できていないと思うので対策があれば教えてください。

高橋町長：千代田町だけではなく群馬県は下水道があまり普及していない状況にあります。本当の千代田町の議員さんからも質問を受けることがあります。下水道には、管渠管というものがあって、その近くに家を建てた人はその管に接続することができますが、その管が通っていない地区は接続できないため、家の周りに合併浄化槽があるので、そこに接続することによってそこで濾過をして、排水に放流するという状況になっています。舞木・赤岩地区はある程度下水道の管が通っていますが、それ以外の地区はその管渠管が通っていません。計画書を作って、少しずつ伸ばしていっている状態です。町からも補助金が出るので、管渠管が通るまでは、合併浄化槽を設置していただきたいです。

## ➤議席番号10番 3年2組 小林 恋 議員

### ①部活動、その他の運動機能向上について

千代田中に入学してから、私は毎年、千代田中から全国大会に出場する選手がいることが素晴らしいと感じました。県大会で上位に入賞することもあるなど、千代田中の部活動は十分なものだと思いますが、一方で体力テストの結果が全国と比べ低いことが分かります。そこで、さらなる部活動、運動機能の向上に向けて千代田町の住民が気軽に参加できる運動イベントや、運動しやすい施設を増やすのはどうでしょう。

### ②川せがきについて

私が夏、とても楽しみになるイベントが川せがきです。毎年多くの人でにぎわう川せがきは花火も多く打ち上げられています。ですが、昔に比べ屋台の種類や数が減少してきたように思えます。私の好きだった射的もここ数年ずっとありません。そこでさらなる川せがきの認知のために、会場の範囲を少し広くし屋台などを多く出店し、イベントを活発にするのはどうでしょうか。川せがきの認知度が大きくなれば千代田町の認知向上にもつながります。

### 答弁

#### 【教育長】

本町のスポーツイベントにつきましては、レガッタ大会や、ちよだスポーツクラブ主催の「スポーツフェスティバル」、今年の1月からスタートしました「おもてなしマラソン」など、様々な催しを行っております。また、年間を通した各種教室も実施しており、ボクシングエクササイズ、ヨガ、ムーヴストレッチ、スポーツ吹矢など幅広い種目を取り入れており、今後も町民の皆さんが気軽に参加できるような種目の充実に努めてまいります。運動施設面では、本町は近隣に比べ充実していると思います。町内に体育館2ヶ所、野球場4ヶ所、芝サッカー場・土のサッカー場が各1ヶ所、テニスコート2ヶ所、他にも学校施設(小学校2校・中学校1校)を開放しております。施設を増やしますと、当然、設置や管理などで経費がかかります。こういった面を考えると、今ある施設を有効に使うことの方が重要になってくると考えております。

今年度は、既存施設の利用者増加を目的として、総合体育館のトレーニング室にクライミングボードを設置いたしました。その他にも東部運動公園南側のウォーキングコース上に、健康器具を10ヶ所新設し、公園に遊びに来られた方がウォーキングしながら、気軽に体を動かせるような環境を整えました。今後も今ある施設を一層充実させられるよう、考えてまいりたいと思います。

#### 【町長】

川せがきの屋台については、ここ数年は110件から120件で推移しておりまして、業種も約40種と多種にわたって出店されており「減少している」ということはないと思っております。最近では、町商工会青年部が飲物やホタテやイワナの塩焼きなどの模擬店を出店し、賑わいを増しています。また、「会場を広くして実施しては」というご質問でございますが、現在の場所は、河川敷を利用していることから、打上げ花火の安全距離や駐車場などを考えると難しいと思います。川せがきは水難事故者の霊を供養することから始まり、現在の開催場所が100年以上も続く歴史あるイベントの発祥の地であるということであり、別の広い会場へ移して行うということも難しいと考えています。

そのため、川せがきに町外からも誘客するために、町のホームページを始め、花火大会情報誌や新聞紙、インターネットのイベント情報サイトに、水上花火や水上スターマイン等の特色ある打上花火や、僧侶による読経と燈籠流しによる幻想的な風景など、他の花火大会では見ることのできない内容を掲載し、PRを行っています。その結果、今年の来場者は昨年より5千人多い4万5千人の方が来場しました。今後も多くの方々が来場していただけるよう魅力あるイベントにしていきたいと思っております。

### 再質問

小林議員：スポーツイベントも増え、施設も充実しているため有効に活用するとおっしゃっていましたが、それは町の認知度向上にも繋がると思います。今度どのように広めていくとお考えですか。

岡田教育長：利用者数が増えるように頑張っているところです。教育委員会として、現在の方法で着実にやっていると思っています。みなさんがこんなことをしたらよいのではないかという意見があったらどんどん言ってきてください。

## ➤ 議席番号11番 3年3組 高橋一輝 議員

### ① 公共交通について

現在、千代田町には公共交通が良くないという課題があります。平成27年に18歳以上50歳未満の方々に実施されたアンケートの結果によると、町外で働いている人の割合が半分以上となっていますが、千代田町には米麦を中心とした農業や大型ホームセンターなどを中心とする商業などがあり、産業が発展していると思います。このような町内にある産業を町民に紹介できれば、自然と公共交通の問題が改善されていくと思います。

### ② 町の人口減少について

千代田町の課題の一つとして、町の人口減少が挙げられておりますが、そこでこの人口減少に歯止めをかける方法としてスポーツの振興によって、町の活性化ができないかと考えました。例えば、2012年に開催されたロンドンオリンピックで銅メダルを松本隆太郎選手が獲得したときは、千代田町だけでなく他の市町村も盛り上がったと思います。ほかにも、千代田町の田んぼからとれる米や麦を生かして特産品を作るなど千代田町の良さをアピールすることができればこの町に住みたいと思う人が増えると思います。

## 答弁

### 【町長】

千代田町の公共交通につきましては、鉄道がないため、現在は「広域公共路線バス」が館林市方面3路線、太田市方面1路線の合計4路線運行しています。4路線ともに千代田町の単独ではなく近隣市町の協力によって運行されているものです。かつて千代田町では大正時代の終わりに当時の乗り合い自動車の運行が始まり、昭和60年には全ての路線で廃止されました。その後、高齢者や学生などの交通弱者対策として平成10年12月に館林・千代田線の運行が始まり、その他の路線についても順次整備され、今日に至っています。

バスの運行では、朝夕便が通学・通勤を対象とした路線。また、日中便は病院などへの通院・買い物などを対象とした路線としています。議員からお話のありました町の産業については、農業では米麦や植木の産地、商業では大型ホームセンターの開店、工業では有名ビール工場の操業など調和のとれた県内有数の町となっています。また、利根川を利用した水上スポーツなど多くの方々が来町しています。

最近では国の補助金を活用して「川せがき」や「産業祭」を盛大に開催したり、新規のイベントとして「ちよだ利根川おもてなしマラソン」を実施し、多くの賑わいを創出しています。また、「館林・千代田線」「館林・明和・千代田線」の2路線については、日中便が大型ホームセンターを経由する運行となっていますので、バスを利用して町外から千代田町に買い物する方も増えていると思います。路線バスの利便性の向上や運行経費の削減といった課題もあるため、多くの町民の方々に乗車を呼びかけ、現在は、町内の会社で働く人のために時刻表の見直しを行うことも考えています。ただ、路線や入社時刻が合わないため町外の会社へ勤めている人は自家用車で通勤している人がほとんどだと思います。

今後も魅力ある公共交通のために取り組んでいきますので、議員も機会があれば乗車をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 【教育長】

続いて、2つ目の質問についてですが、先程の小林議員への答弁にもありましたとおり、現在、本町ではレガッタ大会やスポーツフェスティバル、おもてなしマラソンなど、様々なスポーツイベントを実施し、スポーツによる町の活性化策も行っております。スポーツは、自分で「する」ことに加え、「みる」或いは「支える」など、感動を共有することができます。

本町出身の松本隆太郎選手が2012年のロンドンオリンピックにおいて、グレコローマンスタイル 60kg 級において銅メダルを獲得し、町中を歓喜の渦に包んだ時の記憶は、まだ昨日の事のように鮮明に思い出されます。また、プロ野球チームの楽天イーグルスで活躍している岡島選手の活躍を見て、町民が元気をいただいております。高橋議員もレスリングをやられているとの事で、松本選手のように未来のオリンピック選手を目指し、是非ともメダルを獲得出来るよう頑張ってください。高橋議員の活躍によって、町がより活性化できるよう町を挙げて応援してまいりたいと思います。

千代田町で主に生産されている農産物といたしましては、米と麦があげられます。

千代田町産の米を町外に PR するために、昨年度から開催している「ちよだ利根川おもてなしマラソン」の参加者(約 500 名)全員に、千代田町産の米を参加賞として配布させていただきました。また、今年度も、年が明けまして1月21日(日曜日)に開催いたしますが、今回は昨年よりも200名多い、約700名の方が参加予定となっておりますので、この時も千代田町産の米を参加者(約700名)全員に参加賞として配布を予定しています。町外から来町される参加者に対しまして、千代田町産の「おいしい米」を広くPRをすることができればと考えています。

また、麦では、特に二条大麦(ビール麦)につきましては、本町には「サントリー」という大きなビール工場があります。本町から生産されている二条大麦(ビール麦)の一部は、サントリーのビール工場においておいしいビールに生まれかわっていますので、米と同じく、千代田町産のビール、また、ビール工場のある千代田町ということで、広くPRが出来ればと考えています。また、町外の方へアピールすることについては、今年の3月には、都内の観光会社が主催の体験観光ツアーが催され、キャベツの収穫体験とイチゴ狩り、そして苔(こけ)玉作り体験ができるツアーとして、都内を中心とした83名の方が来町しました。更に8月と9月には、ニガウリ狩り体験を行うという内容で実施され、同じく都内を中心とした70名の方が来町されました。それぞれのツアーに参加された方々からは、「満足した」と大変好評だったと聞きました。

お米や麦、農産物の収穫体験、そして、おもてなしマラソンなどのイベントのPRを含めまして、千代田町の良さを知っていただくことで、千代田町に住んでみたいと思う方を増やしていければと考えています。

## 再質問

高橋議員:おもてなしマラソンを実施するとおっしゃっていて、僕も去年の大会に参加し、今年も参加する予定です。ですが、大会の参加人数が少ないような気がしました。もっと参加者が増やせればさらに町の発展につながると思います。

高橋町長:昨年は500名の参加をいただきましたが、今年は700名の参加をいただきます。ボランティアについては、昨年が250名、今年は400名となっています。スポーツには、参加するスポーツ、見るスポーツ、支えるスポーツと3つあると思っています。選手として走ったり、ボランティアとして参加したり、応援をする方々もいます。旗を立てたり、沿道で応援する方用の小さな旗を事前に配布したりして、みなさんに応援していただくと考えています。県内外から多くの方にきていただくので千代田町をPRできればと思います。千代田中の生徒の皆さんも選手として参加したり、ボランティアでお世話になると思いますのでよろしく願います。

## ➤ 議席番号12番 3年2組 吉永有希 議員

### 職員の給料の問題について

千代田町には多くの老人ホームがあります。近年進んでいる少子高齢化の影響で入居する高齢者の数も増加すると見込まれます。するとそこで働いている人の負担が大きくなります。他の地域では、このせいで過労死やストレスにより入居者へ虐待をする職員が現れています。これに対してどのような対処をするおつもりでしょうか。

また、数年後に開始される未来塾ですが、教師の勤務外労働時間を含めた労働時間と給料は見合っているのでしょうか。

## 答弁

### 【町長】

千代田町の高齢化率、町民の全人口の内、65歳以上の高齢者がどの位を占めるかをあらわした数値ですが、現在、28.22%です。つまり、10人に3人が65歳以上の高齢者となります。また、平均的に寿命も延びていて、町においても増えて行くと予想されます。

そのような中、「介護」が社会的問題となっています。日本では、平成12年度から「介護保険制度」が始まり、いろいろな介護施設が出来てきました。千代田町にも特別養護老人ホーム2か所を始め、いくつかの介護施設があります。人口1万2千人弱の千代田町においては多い方だと思います。ご質問の介護施設での高齢者虐待問題は、全国で起きていて、テレビや新聞の報道で多く見られます。身体的に障害のある高齢者の介護は、介護される側も介護をする側もとても大変です。特別養護老人ホームでは、たくさんの入所者がいて、24時間体制で介護をしています。町役場の職員も介護施設の職員の人たちと交流がありますので、いろいろなお話を聞くことができます。また、施設では、入居している高齢者の方々に何かあった場合は、役場に報告する義務もあります。現在、町では、虐待の事例は起きていませんが、これからも、悲惨な事故が起こらないよう役場と施設の職員の方々との連携を深めて行きたいと思っています。

### 【教育長】

町では、来年2月から中学生を対象とした「千代田未来塾」の試行を予定しており、現在、実施に向けて事務作業を進めているところです。

未来塾の内容ですが、現在中学校で実施している始業前の「朝学習」と、放課後にプラザで実施する「放課後学習」、休日の午後に実施する「休日学習」の3事業を予定しています。「朝学習」の実施場所は、中学校内の教室を予定していますので、マイタウンティーチャーにお願いできればと考えていますが、基本的に「千代田未来塾」に従事して頂く指導者の方は、広報等の募集により応募いただいた教員経験者や地域の方々に運営スタッフとして携わって頂く予定であり、現職の教員は含まれません。また、指導者の方々には勤務時間に応じた賃金をお支払いする予定ですので、中学校の先生方の労働時間が増えることはありません。

## 再質問

吉永議員：学習時間は朝と夕方と伺いましたが、現在でも中学校では朝学習を開始しています。しかし、そこで学習する生徒は極めて少なく、同じ様に未来塾を開始しても参加者が少ないと思います。

岡田教育長：おそらく人数は少ないのかなと思いますが、できるだけ多くの方に参加していただければそれで良いのかなと思います。塾に通う人もいれば、通っていない人もいます。中には行きたくても行けない家もあるかもしれません。勉強をしたいと望むときに、みんなが勉強できる環境を作っていく必要があるのかなと思います。

## 5. 子ども議員の感想 ～子ども議会を終えて～



みなさん  
お疲れ様でした！

### **\*議席番号 1番 吉田健人 議員\***

今まで千代田町役場の議場に入ったことはなく、初めて入った時はすごく緊張しました。リハーサルでは分からないことも分かりやすく教えてくれました。本番ではリハーサル通りに堂々と質問をすることができたと思いました。

### **\*議席番号 2番 橋本実弥 議員\***

初めての議会だったので、やはり質問をするのが一番緊張しました。町長さんや教育長さんの返答がしっかりされていて、あまり再質問ができませんでした。副議長としての進行も緊張しましたが、最後のほうはスムーズにできました。

### **\*議席番号 3番 荒井希美 議員\***

私は、公民の授業を受けるまで議会についてほとんど知りませんでした。でも、授業と今回の子ども議会を通して、興味をもつことが出来ました。始めてのことだらけでとても緊張しましたが、貴重な体験ができて、よかったです。

### **\*議席番号 4番 須藤秀太 議員\***

めったに入れない議場で子ども議会ができて、最初はみんなの前で発言するのは緊張しましたが、話をしっかりと聞き、答えてくれたのですごく貴重な体験ができたので良かったです。

### **\*議席番号 5番 高橋璃桜 議員\***

初めての議場で自分の意見を述べるのはとても緊張しました。町長さんの意見を聞いているときに頭が真っ白になってしまい、焦りました。初めての経験で難しい事もありましたが、勉強になりました。

### **\*議席番号 6番 関根健真 議員\***

子ども議会に参加したことで、議場の中に入れたり、町長さんや教育長さんと議会の中で話すことができたというのは、人生の中でもなかなかできる事ではないと思います。それが経験することができたので本当に参加できて良かったです。

### **\*議席番号 7番 由井 翔 議員\***

初めての子ども議会で質問が上手く言えるかとても不安でしたが、町長さんや議員さんとても優しく楽しい一日でした。このような機会を与えてくれた皆様に感謝します。

### **\*議席番号 8番 杉寄一馬 議員\***

普通なら中々入ることのない議場で発言することは、とても楽しいと感じました。その中で議長という大役を任せていただいたことは、一生に一度と無い瞬間でした。緊張はしたものの、町のために発言することは楽しいと思いました。

### **\*議席番号 9番 八山椋成 議員\***

僕は、初めての議会が楽しかったです。しかし、待っている時間は辛かったです。本物の議会ではもっと真面目だと思いますが、笑いありで安心しました。このような経験は、高校生になってもできたいなと思いました。

### **\*議席番号10番 小林 恋 議員\***

初めての議会でもとても緊張しましたが、私の千代田町に対する想いを伝えられたので良かったです。私たち千代田中生の意見が少しでも力になり今後の千代田町の発展に繋がればいいなと思っています。貴重な体験をありがとうございました。

### **\*議席番号11番 高橋一輝 議員\***

少し緊張してしまいましたが、言いたい事をしっかりと発言する事ができてよかったです。もう少し質問が出来たらよかったです。この様な場を設けてくださった須永先生や町の議会の皆様にはとても感謝しています。

### **\*議席番号12番 吉永有希 議員\***

今回は子ども議員として議会に参加させていただきました。議場の中は写真で見たことはあったのですがとても暑かったです。意見を言う時はとても緊張しましたが、とてもよい経験となりました。これからの生活に役立てたいです。

## 6. 当日の様子



初登庁！  
天気も良く、  
子ども議会日和☀

須永先生からの  
激励で、みんな  
気合が入ります！



襟川議長・高橋副議長から、  
任命証書を受け取ります！



議員バッジも受け取り、  
正式に子ども議員に！



～事前説明会でも真剣な面持ちです！～



リハーサル。  
初めての議場に  
どきどきです！



ビシッと決まっています！  
議員さんらしくなってきましたね☺



本番の流れを  
最初から通します。  
一生懸命取り組みま  
した！



お昼休憩です！  
わきあいあいとした雰囲気  
で、からあげ弁当を食べました。

～吹奏楽部 リハーサル中～



いよいよ入場！  
子ども議員さんの表情が  
より真剣になり、緊張感  
が伝わってきます。

## 7. 参考資料(出席者)

町長  
副町長  
教育長  
総務課長  
財務課長  
住民福祉課長  
環境保健課長  
経済課長兼農業委員会事務局長  
都市整備課長  
会計管理者兼会計課長  
教育委員会事務局長  
議会事務局長  
書記  
書記

高橋 純一  
坂本 道夫  
岡田 哲  
椎名 信也  
柿沼 孝明  
森 茂人  
小暮 秀樹  
荒井 稔  
石橋 俊昭  
小寺 晴美  
宗川 正樹  
田村 恵子  
安西 菜月  
久保田 新一

### ～千代田町議会～

議長  
副議長  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員  
議員

襟川 仁志  
高橋 祐二  
青木 國生  
細田 芳雄  
柿沼 英己  
小林 正明  
川田 延明  
森 雅哉  
大谷 純一  
橋本 和之  
酒卷 広明  
大澤 成樹





町の木 モクセイ



町の花 キク

平成 29 年 千代田町子ども議会 会議録

発行 千代田町議会事務局  
〒370-0598 千代田町大字赤岩 1895-1  
TEL:0276-86-2111(代表)